

## 2025年度薬学部「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
医療人	光本 泰秀、石川 和宏	1	前期	必修	講義・演習	1.5	石川和宏、佐々木敏之、小林星太、西上 潤、三ツ間泰弘、高橋喜統 薬剤師業務に携わった経験を持つ教員や薬剤師資格を取得した本学卒業生が、薬剤師の社会的役割、各領域における業務内容等に関する基本的知識を講義する(講義)。 山本香代、飯沼 由嗣、堀 有行、我妻孝則、山村博 大学病院において現役で活躍している医師、看護師、管理栄養士、放射線技師が、医療人としての各々の使命、多職種連携の意義とその実践について講義する(講義)。
北陸の文化と社会	福江 充	1	前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
生化学Ⅰ	内手 昇	1	前期	必修	講義・演習	1.5	薬局での実務経験を有する内手教授が、患者の体内で起こっていることを細胞・分子レベルで理解できるように学習を支援する。
早期体験学習	石川 和宏	1	後期	必修	実習・演習	1	1. 実務家教員名：石川和宏、岡田守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する) 2. 実習内容：医療施設等への見学研修時に引率して実務経験を踏まえた補足説明等を加えることにより学習効果をより高めることに寄与する。また、必要に応じて、実際の臨床場面をイメージさせながら実践に即した助言等を与えることで、SGDにてより積極的な議論ができるように努める。 3. 授業形態：実習、演習、及び遠隔授業
臨床体験学習	石川 和宏、大柳 賀津夫	2	前期～後期	自由	実習	1	1. 教員名： 2. 授業内容： 薬局などで実務に従事する薬剤師の下で、薬剤師が担う臨床薬剤業務の実際を臨床現場で見学したり一部を体験する。 3. 授業形態： 実習
生化学系実習	内手 昇、鍛治 聡、山崎眞津美、大島 京子、倉島由紀子	2	前期	必修	実習	1	薬局で実務経験を有する内手教授が、生体分子を分析するための基本的な実験手法について習得できるように学習を支援する。
漢方医薬学概論	劉 園英	2	後期	選択	講義	1.5	漢方医薬学における漢方医学の考え方・適応症・服薬方法・副作用について、講師は病院臨床経験があるので、現状を踏まえて説明する。
看護学	石川 倫子、桜井 正美、松本 智里、今方 裕子、田村幸恵、寺井 梨恵子、紺家千津子	2	後期	選択	講義	1.5	看護師資格を有する教員(石川、紺家、松本、桜井、寺井、田村、大江)が医療施設および保健・介護福祉施設等での実務経験に基づき、看護師の本来的な役割と看護の基盤となる理論、現代の看護の特徴および機能と倫理的な課題に関して講義する。
プロセス化学	尾形 篤太郎、要 衛	3	前期	選択	講義・演習	1.5	第12回～14回の講義では、金剛化学株式会社(富山県)で元研究部長を長く勤められていた横田 昌幸 先生をお招きし、会社で実際に行われている業務を題材としてパワーポイントを用いた講義を行う
高齢者の心理・行動	内手 昇、畑 友佳子、石川和宏、林 洋一	3	前期	必修	演習	1	病院薬剤師として実務経験を有する石川教授、並びに薬局で実務経験を有する内手教授が、現場での経験を活かして、SGDやロールプレイなどを通して、患者と医療人がコンコーダンスなパートナーシップを形成するためのコミュニケーションについての学習を支援する。心理カウンセラーとしての実務経験を有する林教授が、患者の心理・行動に関する理論的背景をもって、初歩的な薬剤師に必要なコミュニケーション能力の醸成を図る。本学卒業生で薬剤師の橋本昌子氏がゲストスピーカーとして、超高齢社会における薬剤師の果たすべき役割の現状、自身の取り組みについて紹介する。
薬理・薬物治療Ⅳ	野村 政明、佐藤 友紀	3	前期	必修	講義	1.5	病院薬剤師の経験がある教員が、薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義：野村 政明)
薬理系実習	松尾 由理、佐藤 友紀、光本 泰秀、野村 政明、高橋達雄	3	前期	必修	実習	1.5	薬剤師としての実務経験を活かし、薬の作用について、臨床上での注意点も含めて解説する(野村政明)。
薬理学Ⅱ(臓器別薬理)	高橋 達雄、野村 政明	3	前期	必修	講義	1	薬物治療における医薬品の使用とその作用機序が結びつくように解説する。(講義：野村政明)
臨床薬学実習	高橋 寿明、佐藤 友紀、杉山 朋美、高橋 達雄、石丸章宏、坂野 由宇希	3	後期	必修	実習	1.5	(1)坂野 由宇希(薬剤師)が、「薬剤師におけるフィジカルアセスメントの意義」を講義する (2)石丸 章宏(看護師)が、「心肺蘇生法」を講義ならびに実技指導する
薬事関連法規Ⅰ	大柳 賀津夫	3	後期	必修	講義・演習	1.5	1. 教員名： 大柳 賀津夫 2. 授業内容： 薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、社会保障や医療保険制度、調剤報酬などについて講義や演習を行う。 3. 授業形態： 講義、演習
病院・薬局実務実習	石川 和宏、光本 泰秀	4	前期～後期	必修	実習	20	実習施設に所属する指導薬剤師の下で、薬剤師が担う臨床薬剤業務の実際を臨床現場で体験する実習である。

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
薬学演習Ⅱ	野村 政明、興村 桂子、木村 敏行、小藤 恭子、劉園英、杉山 朋美、高野 克彦、高橋 達雄、池田 啓一、宇佐見 則行、岡本 晃典、松尾 由理、佐藤 安訓	4	前期～後期	必須	演習	2	病院薬剤師の経験を持つ教員が、薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。（講義：野村 政明）
臨床英会話	井上 裕子、石川 和宏	4	前期	必須	講義	1	1. 実務経験のある教員：石川 和宏（病院薬剤師としての実務経験を有する教員） 2. 授業内容：実際の臨床場面を想定しながら実践に即した臨場感のある場面がイメージできるよう教育指導する。
薬剤師倫理	大本 まさのり、關谷 暁子、野村 政明、大浦 誠	4	前期	必修	演習・講義	1	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大本 まさのり（薬局薬剤師）、野村 政明（病院薬剤師）、關谷 暁子（臨床検査技師）であり、現役の病院薬剤師および医師、看護師としての実務経験を有する他大学の教員もゲストスピーカーとして授業に加わる。 2. 授業内容：授業の担当者は、医療従事者もしくはその経験のある教員で構成する。病院・薬局の臨床や在宅医療の現場で授業担当者が経験した事例を課題とし、グループで倫理的問題を討議する。また、大学病院での治験・臨床研究に精通された薬剤師が講義する。 3. 授業形態：講義・演習
実務実習事前学習Ⅰ	大柳 賀津夫、興村 桂子、佐藤 栄子、野村 政明、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、岡田 守弘、政氏 藤玄、多賀 允俊、坂野 由宇希、小林 星太	4	前期	必修	実習・演習	3.5	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大柳賀津夫（薬局薬剤師）、石川和宏（病院薬剤師）、大本まさのり（薬局薬剤師）、野村政明（病院薬剤師）、岡田守弘（病院薬剤師）、高野克彦（病院薬剤師）の6名で、政氏藤玄（病院薬剤師）、小林星太（薬局薬剤師）、坂野由宇希（薬局薬剤師）、多賀允俊（病院薬剤師）の4名が現役薬剤師の立場で担当する。 2. 授業内容：実務家（臨床系）教員が中心となり、病院・薬局での薬剤師業務の経験を取り入れた授業を実施する。また、日常的に臨床業務に携わっている現役薬剤師も学外講師として一部の授業を担当する。 3. 授業形態：実習・演習
調剤学	岡田 守弘、高野 克彦、石川 和宏、大柳 賀津夫	4	前期	必修	講義・演習	1.5	①教員名：岡田 守弘、石川 和宏、高野 克彦（病院薬剤師としての実務経験を有する教員）、大柳 賀津夫（保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員） ?授業内容：実際の臨床場面を想定しながら実践に即した調剤学に関する専門知識を解説する ③授業形態：講義、演習
薬物治療学Ⅲ（臓器別）	高野 克彦	4	前期	必修	講義	1	担当：高野 克彦（病院薬剤師としての実務経験を有する） 精神・神経疾患、眼疾患の薬物治療に関する講義を行う。
薬理・薬物治療Ⅷ	野村 政明	4	前期	必修	講義	1.5	病院薬剤師の経験を持つ教員が、薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。（講義：野村 政明）
臨床薬学Ⅰ	野村 政明、劉園英、佐藤友紀、光本 泰秀、倉島 由紀子、高橋 達雄、松尾 由理、大黒 徹、高橋 寿明	4	前期	必修	講義	1.5	薬物治療における医薬品の適正使用について、病院薬剤師経験のある教員が、現状を踏まえて説明する。（講義：野村 政明）
薬理・薬物治療Ⅸ	劉園英	4	前期	必須	講義	1.5	薬物治療における漢方薬の適正使用について、講師は病院臨床経験があるので、現状を踏まえて説明する。
放射薬品学	鍛冶 聡、畑 友佳子	4	後期	選択	講義	1.5	担当教員は、ともに20年超の放射線管理の実務担当で、放射線規制法（旧放射線障害防止法）並びに電離放射線障害防止規則に則り、北陸大学での放射性物質の管理、放射線業務従事者の放射線障害防止、健康管理を実務者として勤め上げてきている。放射線から身を守るために考えるべきこと、実践するべきことを経験に基づき教授できる。  鍛冶聡：放射線安全管理責任者（第1種放射線取扱主任者免状）  畑友佳子：放射線安全管理担当者（第3種放射線取扱主任者免状）  二名とも表示付認証機器の管理者に資する国家資格を有している。
薬局薬品学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	後期	選択	講義	1	1. 教員名： 大柳 賀津夫、坂野 由宇希 2. 授業内容： 薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、保険調剤業務、セルフメディケーションや地域医療・地域保健などについて、事例の紹介など経験を活かした授業を行う。 3. 授業形態： 講義
薬局経営学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	後期	選択	講義	1	1. 教員名： 大柳 賀津夫、坂野 由宇希 2. 授業内容： 薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、薬局の管理や経営、調剤報酬算定などについて、事例の紹介など経験を活かした授業を行う。 3. 授業形態： 講義

## 2025年度薬学部「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
実務実習事前学習Ⅱ	大柳 賀津夫、興村 桂子、佐藤 栄子、野村 政明、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、岡田 守弘、政氏 藤玄、多賀 允俊、坂野 由宇希、小林 星太	4	後期	必修	実習・演習	3	1. 担当教員：実務経験を有する教員は、大柳賀津夫（薬局薬剤師）、石川和宏（病院薬剤師）、大本まさのり（薬局薬剤師）、野村政明（病院薬剤師）、岡田守弘（病院薬剤師）、高野克彦（病院薬剤師）の6名で、政氏藤玄（病院薬剤師）、小林星太（薬局薬剤師）、坂野由宇希（薬局薬剤師）、多賀允俊（病院薬剤師）の4名が現役薬剤師の立場で担当する。 2. 授業内容：実務家（臨床系）教員が中心となり、病院・薬局での薬剤師業務の経験を取り入れた授業を実施する。また、日常的に臨床業務に携わっている現役薬剤師も学外講師として一部の授業を担当する。 3. 授業形態：実習・演習
臨床薬学Ⅲ	岡田 守弘、興村 桂子、佐藤 栄子、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、大柳 賀津夫、多賀 允俊、坂野 由宇希	4	後期	必修	演習	1	①教員名：岡田守弘、石川和宏、高野克彦（病院薬剤師としての実務経験を有する教員）、大本まさのり、大柳 賀津夫（保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員）、多賀允俊（病院薬剤部に勤務するみなし教員）、坂野由宇希（保険薬局に勤務するみなし教員）、学外講師（病院薬剤師・保険薬局薬剤師） ?授業内容：病院並びに保険薬局で調剤業務・製剤業務・DI業務・薬剤管理指導業務・治験管理業務・医療安全業務、在宅医療等の実務に携わっている薬剤師（みなし教員・学外講師）が自験例を呈示し、病態・薬物治療に関連した問題提起を行う。また、受講者が作成した制作物に対して学外講師やみなし教員、実務家教員が実臨床での経験を踏まえて解説する。 ③授業形態：演習
薬物治療学Ⅳ（免疫と	野村 政明、石川 和宏	4	後期	必修	講義	1	病院薬剤師の経験がある教員が、薬物治療における医薬品の適正使用や現状を、実務経験を踏まえて説明する。（講義：野村 政明、石川 和宏）
臨床薬学Ⅱ	野村 政明、興村 桂子、佐藤 友紀、光本 泰秀、高橋 達雄、岡本 晃典、大黒 徹、高橋 寿明	4	後期	必修	演習	1	薬物治療における医薬品の適正使用について、病院薬剤師経験のある教員が、現状を踏まえて説明する。（講義：野村 政明）
					合計	64.5	